

山武市子ども・子育て会議（平成 29 年度第 1 回）要旨

日時：平成 29 年 10 月 16 日（月） 13 時 30 分～15 時 00 分

場所：山武市役所（新館 3 階） 第 5 会議室

出席者：委員 15 人／20 人

事務局 11 人（教育部 4 人・保健福祉部長・子育て支援課 6 人）

傍聴人：1 人

進行：子育て支援課主幹

議事進行：会長

議事結果

(1)子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

・・・異議なし 了解

(2)報告事項

①現在の園児数及び待機児童数 ・・・了解

②平成 30 年度入所案内 ・・・了解

③まつおこども園の移転に係る進捗状況報告 ・・・了解

(3)その他

・保育士等の子どもの優先入所等に係る取扱いについて
・・・了解

・委員から課題提起

敬称略

1. 開 会〔進行〕

2. 挨拶〔保健福祉部長〕

3. 委員委嘱〔保健福祉部長より各委員へ交付〕

4. 委員の紹介〔司会より氏名を読み上げて紹介〕
会議の趣旨・目的説明〔子育て支援課長〕

5. 会長及び副会長の選出

会議成立の報告〔進行〕

(委員 20 名中 15 名出席。会議条例第 6 条により、過半数を超えたので会議開催。)

6. 議事〔会議条例により議事進行：会長〕

議事に入る前に、本日 1 名の方から傍聴希望の申し出をいただいております、これを許可しているのでお知らせする。

(1) 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について〔説明：子育て支援課事務局〕

(「資料 1 子ども・子育て支援事業計画【主な事業・取組み】」をもとに報告)

平成 28 年末までの進捗状況ということでご説明申し上げます。

基本目標 1 「子どもの人権の尊重と安全安心の環境づくり」は 14 事業で進めている。平成 28 年度末の点検評価はいずれも順調またはほぼ順調という結果。

その中で、児童虐待防止対策は、相談件数が例年増加傾向にあり、またそのケース自体が長期化している。ケースも大変多くなっている。現在、子育て支援課と健康支援課で協議を行っている。国も対策等毎年提案をしているが、どのように対策していくかということで追われているという現状である。

基本目標 2 「子どもが豊かにたくましく育つ教育の推進」は、14 事業で進めており、事業評価はいずれも順調またはほぼ順調という結果。

基本目標 3 の「安心して子どもを生み育てられる環境づくり」は、18 事業で進めている。いずれの点検評価も順調またはほぼ順調という結果。

基本目標 4 「子どもと子育てを支援する地域づくり」は、22 事業で進めており、ほぼ順調一部遅延、遅延という結果。

この事業の中で、認定こども園の設置という事業があるが、蓮沼と旧山武町にはこども園がないので、昨年度は 3 つの私立保育園とこども園に関する話し合いをした。具体的な進捗はないが進めていきたいと思う。

ファミリーサポートセンター事業は未実施。必要性は高まってはいるが、まず組織づくりをしなければならない事業で、組織作りが遅れている。

病児・病後児保育事業は、昨年度はいすみ市に視察に行った。医師、看護師、保育士の確保などコストも高くかかり山武医療センター等の医療機関の協力をいただかなければやっていけないと感じた。

なお、病後児保育についてはなるとうこども園で平成 25 年度から現在実施しており、28 年度の登録名は 19 名で利用者数は 7 名であった。

少子化で子どもの数は少なくなっているが、学童保育、病児・病後児保育の市民のニーズは多様化してきている。子育てを支援する実施体制の確保に向けて体制仕組みの構築をやっていかなければならないものが増えてきている。

・内容への質問、意見 なし

(2) 報告事項

①現在の園児数及び待機児童数〔説明：子育て支援課事務局〕

(資料2 平成29年度 公立こども園・幼稚園 29.10.1現在 ほか)をもとに報告)

- ・在園児数、待機児童数を月別推移で報告
- ・地域型保育事業で、定員変更があったことを報告

・内容への質問、意見

Q〔委員〕 横芝光町への管外保育の理由は。

A〔子育て支援課事務局〕 理由としては、勤務地や、通勤経路。

Q〔委員〕 待機児童が多い園は。

A〔子育て支援課事務局〕 なるとうこども園が多い。しらはたこども園、日向保育園もいる。

Q〔委員〕 若杉保育園・蓮沼保育園は定員オーバーだが。

A〔子育て支援課事務局〕 定員は120%以内を2年連続までは許容範囲内。

Q〔委員〕 なるとうこども園は定員11名オーバーの中で、保育士の補充を考えているか。

A〔子育て支援課事務局〕 臨時保育士の募集をかけている。保育士配置基準は満たしているが、朝・夜できる人が足りない。

Q〔委員〕 平成30年度採用状況は。

A〔子育て支援課事務局〕 募集2人に対し15名応募があり、現時点では一次通過6名。

Q〔委員〕 なるとうこども園での困ったことは。

A〔委員〕 きょうだいで別々の園になってしまっている。

Q〔委員〕 なるとうこども園の定員を増やす予定はあるか。

A〔子育て支援課事務局〕 現状では考えていない。子どもの数は、少子化が進む中、3～5歳児の数が減り、同じく受け入れ数が減ってきている。0～1歳児は、

減っているのに預けたい保護者が増えてきている。定員を増やすというよりは、現定員で、保育士の確保ができ、部屋面積基準を満たし、そのうえで可能であれば、3歳以上の定員を減らし3歳未満の定員を増やすことができると事務局としては考えている。

Q〔委員〕 きょうだい別々の園なのは保護者にとって不安要因で、ひいては、第2、3子をためらい少子化が進んでしまうのではないか。何か対策案はあるか。

A〔子育て支援課事務局〕 入所調整の加点ではきょうだい同時入所は加点している。それでも、なるとうこども園に申し込みが集中してしまい、3歳未満児が入れない事態になった。解決になるか分からないが、3歳未満児の定員を増やすこと

②平成30年度入所案内〔説明：子育て支援課事務局〕

長児部・保育園、短児部・幼稚園の入園案内があり、内容は目次のとおり。4月からの新規入所の案内になっている。11月から配布し、12月1日から12月15日まで受け付けをする。

昨年と違う点は、地域型保育事業の一覧を入れたこと。

・内容への質問、意見

Q〔委員〕 入園案内19、20ページ、その他の保育の案内については、詳細は子育て支援課へお問い合わせくださいとなっているが、パンフレットや別に案内はあるか。ニーズがありそうなのに、気づかないでいるかもしれない。

A〔子育て支援課事務局〕 延長保育は在園児対象で、入園後の保護者説明会で案内する。一時預かりと病後児保育は、パンフレットがある。

Q〔委員〕 病後児保育は、なるとうこども園しか受けていないのですよね。

A〔子育て支援課事務局〕 看護師は、なるとうこども園・なんごうこども園・子育て支援課に配置している。子育て支援課は常勤で、何かあれば対応している。

Q〔委員〕 申し込みがなくても対応してくれるか。

A〔子育て支援課事務局〕 病後児保育は事前に登録してもらっている。途中急に具合が悪くなったら各園で対応。

なんごうこども園の看護師は、医療的ケアが必要な子どもの対応のため、臨時職員として特別な事情で配置できた。今後確保できるかは難しい。

病後児保育を全園にあれば便利ではないかという意見があるかもしれないが、登録数は20名程度、利用するのは一ケタで多くないのが現状。

病児保育は計画になっているが、看護師だけでなく医者を含めてやっていかなくてはならない。利用者はそう多くない現状で、何か所でどこでやっていくのかは課題。

Q〔委員〕 一時預かりは事前に申し込みが必要で日にちを指定しておかなければならないということだが、急に必要となった時への対応は。上の子に何かあり下の子を見てくれる人がいない人は困るのではないかと。

A〔子育て支援課事務局〕 一週間前に申し込みをすることがルールになっている。園で急な対応ができるかできないか、になる。この場でどうするという回答はできないが臨機応変な対応がとれればと思うところである。

〔委員〕 ファミリーサポートセンターができればいいと思う。

〔委員〕 現場サイドとしては、一時預かりの職員が足りないことがあるので、一週間前に申し込んでもらっている。緊急を要する受け入れが可能な時は、子どもを同じ年齢のクラスで預かるようにして対応することもあるが、定員がいっぱいで受け入れられない園はあるという事情がある。

③まつおこども園の移転に係る進捗状況報告〔説明：子育て支援課事務局〕

平成 20 年度に保育所型認定こども園として開設した「まつおこども園」は、旧松尾保育所の園舎を使用している。昭和 53 年建築の建物のため、老朽化による施設の故障が目立つ。

教育委員会では、少子化による学校の小規模化が課題となり、小中学校の規模適正化・適正配置計画を策定し、松尾小学校と豊岡小学校の統合を計画している。

統合年度は、平成 31 年度で、統合後の学校位置は松尾小学校となる。

統合後の松尾小学校は、隣接する「まつおこども園」の敷地も活用し、新校舎を建設する計画。

このような状況の中、小学校の統合計画と並行し、「まつおこども園」の移転が必要となり、移転先については、財政面を考慮し、新たな土地を購入するのではなく、現在ある市有財産（施設・土地）を利活用したく、豊岡小学校の閉校後、既存校舎の改修を行い、「まつおこども園」として、利用したいと考えている。

大まかなスケジュールは、平成 29 年度は、施設規模・定員及び施設改修の検討を行い、基本設計業務を実施、平成 30 年度実施設計業務を実施、平成 31 年度改修工事を実施、平成 32 年度の開園を予定している。

なお、豊岡小学校の近くには、休園中の豊岡保育所があり、「まつおこども園」の開園と同時に閉園したいと考えている。

現在の取組状況は、5 月 11 日(火)に子育て支援課、教育総務課で豊岡小学校の現地確認を行った。

7 月 13 日(木)及び 8 月 29 日(火)に市役所内の関係部署（企画政策課企画係・財政課財政係・資産管理運営室・消防防災課消防係・防災係・土木課建設係・学校再編推進室・教育総務課施設整備係・スポーツ振興課）と打合せを行い、今後のスケジュールや課題について検討。

8月3日(木)には「各幼稚園・こども園職員の代表者(7名)」と「まつおこども園保護者(5名)」を対象に豊岡小学校の見学を行った。少人数の参加だが、実際に施設を利用する方の意見を改修計画の検討材料にしたいと考え、実施したもの。

まつおこども園の保護者に対しては、見学会には不参加であっても、通知によりこども園移転計画について、周知が図れたものとする。

今後は、より具体的な検討作業ができるよう平成29年度中に基本設計業務を実施する予定である。

・内容への質問、意見

なし

(3) その他〔子育て支援課事務局から報告等〕

①前会議でご意見いただいた、なんごうこども園1号認定・日向幼稚園・むつみのおか幼稚園の利用定員の変更を千葉県へ届けたことをご報告する。

②国から、保育士資格のある場合の、入所調整の優先について、通知があった。

これは、市外の保育士として働く場合も、優先するよという内容。全国的な保育士不足の中の保育士確保の施策。当市では、市内の園で保育士として働く場合、入所調整で同じ点数の場合優先されることとしている。この規則を見直す予定。

7 その他〔進行〕

〔委員〕

赤ちゃん訪問を助産師としているが、課題になったことがあったのでご報告させていただきます。

事例として、赤ちゃんが生まれた母親と子どもがインフルエンザになり、赤ちゃん訪問をしていた助産師へヘルプコールがあった。しかし、助産師がずっと子どもをみられるわけではない。制度や紹介先、情報を考えたが答えが出なかった。

きちんと保育の教育を受けた人が個人の家庭に行って見てくれる保育ママは都会にはあるようだが。

実家が遠い人や核家族は、助けを求める先がなかなかない。

入所だと0歳児から預かってくれるが、もっと小さい本当に大変な時期に少し来て手伝ってくれることがあったらいいということが話に出た。

実際に困っている人がいるので、今後の課題としていければと思う。

〔子育て支援課事務局〕 現状はその対応をできることはない。今後できるのかどうかも含め検討していくことになる。

〔委員〕 仕事を始めようとしている人が、子ども預けて仕事を探す、ということが出来るが、空いていれば預かれるけど、空いていなかったら子どもを連れて就職活動しないといけないのか。対応はどうしているか、また、現実にそういうケースが

あったか。

〔子育て支援課事務局〕　たくさん応募があれば預かれないということになる。求職活動は、調整点数が低く優先的に預かることになっていない。求職中の預かり期間は3カ月。4月の時点は、待機がいなかったので入園できたが、年度途中からは人気の園から埋まっていくという現状である。

事務連絡を伝え、閉会